

## 6回生 選択科目「英語講読」授業のシラバス

<b>教科名</b>	外国語	<b>科目名</b>	英語講読	<b>単位数</b>	3単位
<b>科目の目標</b>	文の構造をとらえ、また、文章の構造や展開をとらえながら英文を読む能力を養う				
<b>教科書</b>	なし	<b>副教材</b>	Reading Power Basic（数研出版） 英文速読ドリル 10 minutes Level 1（Z会出版）		

### 1 学習の目標

- (1) 文章をまとまりとして読んでいく能力を養う。
- (2) 文の構造や文法事項を自分で読み取り、説明できる能力を養う。

### 英語運用の4技能の目標

<b>聞くこと</b>	○ある程度の長さで複数の話題が含まれた話を聞いて、主題や重要な情報を理解できる。 ○教科書で扱われた話題について、自分の意見と比較しながら、他人の意見を聞くことができる。
<b>話すこと</b>	○教科書で読んだ話題などについて、理由を交えながら自分の意見を話すことができる。 ○英語で読んだり聞いたりした話題について、自分の意見を提示することができる。
<b>読むこと</b>	○教科書本文について、文章構成や重要な点を意識しながら読むことができる。 ○英語で書かれた文章について、書き手の意図などを理解して、自分の意見と比較しながら、文章を読むことができる。
<b>書くこと</b>	○自分の関心のある話題や身近な話題について、詳しく記述することができる。 ○自分の意見について理由を提示したり、自分が重要だと思う点を相手に理解させることができる。

### 2 学習の方法

- (1) 予習について  
事前に次の時間の範囲を読み、それぞれのレッスンで学ぶ技術を確認します。わからない単語の意味を調べ、Forest や VIntage を使い文法事項を確認し、また疑問点などの確認をしておきましょう。英語の語順で読み、文の構造を理解し、大意をつかむ訓練をします。
- (2) 授業について  
各レッスンにおけるリーディングスキルを身につけるために、演習中心で授業を進めます。次第にまとまった分量の英文を読んでいくことになるので、速読の能力を身につけていくことが求められます。
- (3) 復習について  
習った事項を再度確認し、語彙を増やしましょう。習った本文を最低5回音読しましょう。正しい発音で、相手が聞きやすいように読むことが大切です。また、習ったリーディングスキルについて復習をすること、確認した文法事項を身につけることも大切です。

#### 〈学習アドバイス〉

様々な異なる進路目標を持つ生徒が受講する授業になります。しっかりとポイントを予習をし、また、音読をたくさんすることで頭の中に英語のデータベースを作ることが大切です。

### 3 評価について

#### (1) 評価の観点

観 点	趣 旨
①関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。主に、アクティビティへの参加・協力や、課題の取り組み、授業で扱われた題材への興味・関心で評価します。
②表現の能力	外国語を用いて、情報や考えなど伝えたいことを話したり、書いたりして表現する。主に、英語を用いて話したり、書いたりする能力で評価します。
③理解の能力	外国語を聞いたり、読んだりして、情報や話し手や書き手の意向など相手が伝えようとすることを理解する。主に、英語を聞いたり読んだりして、中身を理解する能力で評価します。
④知識・理解	外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身につけるとともにその背景にある文化などを理解している。主に、文法や英語の基礎知識が身につけているか、授業で扱われた題材についての周辺知識を理解しているかで評価します。

#### (2) 評価の方法（以下観点①～④は「(1) 評価の観点」と対応する）

評価材料	定期考査		発言 発表	確認 テスト			
	観点						
①関心・意欲・態度		授業で扱う内容理解への意欲、態度	○				
②表現の能力	○	本文内容に関する英作文、語句整序問題		○			
③理解の能力	○	要約・読解問題		○			
④知識・理解	○	本文内容に関する語彙・文法等に関する問題		○			

#### 〈担当者からのメッセージ〉

- テストは、学習したリーディングスキルに関する問題を出題します。また、初見の問題も出題します。
- とにかく予習で自分の力で文を読み解くことと、復習で文法事項を確認することを大切にしましょう。
- 授業だけで英語の力がつくという幻想は捨ててください。家庭学習が全てです。家で勉強をしないのなら、授業に出ても意味がありません。

■本校で目指す生徒像と身につける資質・能力

探究心		高い知性				豊かな人間性			健康な心身		郷土愛と国際性	
関心・意欲		情報活用能力		調整力		自律心	寛容さ	感受性	生命尊重の心	強くないやかな心身	日本人としての誇り	多様性の尊重
A	B	C	D	E	F							
課題に関心をもち、問題発見・解決へ向けて意欲的に取り組むことができる。	生じている問題や今後生じうる問題について理解し、解決方法を提案することができる。	多様な視点から必要な情報を収集し、整理・分析して、意見に結びつけることができる。	事象や関係性を把握し、様々な情報を整理・分析し、論理的に思考することができる。	相手の感情を理解し、共感を示すことができる。	他者の主張を理解し、自分の主張と調整し、互いに納得できる結論を得ることができる。	強い意志をもち、周囲に流されることがなく、困難に立ち向かうことができる。	異なる価値観や多様な特質を理解し、尊重しながら、互いを高め合っていくことができる。	有形無形の美や自然に対し、その価値を素直に受け止めることができる。	命の尊さと健康の大切さを理解し、何より自他の生命を尊重することができる。	困難に負けない強い心と体を持ち、あらゆる課題に対して柔軟な対応ができる。	郷土に対する深い理解と愛着を持ち、日本のよさを伝えることができる。	世界の多様性を理解し、多面的・多角的な視野から他者と接することができる。

4 授業計画

月	単元	学習内容	評価の観点	考査等	資質・能力				
4	Phrase Reading(1)	フレーズ・リーディングの基本	①自分の力で英文を読もうとしている。 ②慣用的な表現を知り、使うことができる。 ③フレーズを正しく区切ることができる	1 学期中間考査	A				
	Phrase Reading(2)	フレーズの区切り方							
	Phrase Reading(3) 言語	フレーズの区切り方							
5	文のつながり(1)	言い換え語句	③代名詞がどの語を指すのかを理解することができる。 ③接続詞を意識し、話の筋道をつかむことができる。 ③文脈によって文のつながりを読み取ることができる。		1 学期中間考査	A			
	文のつながり(2)	接続詞、ディスコース・マーカ							
	文のつながり(3) 言語	ディスコース・マーカ							
6	推測(1)	同格表現・語の成り立ち	③知らない単語を、前後の文脈や語の成り立ちから推測できる。 ④前後関係から品詞を推測することができる。			1 学期中間考査	ACD		
	推測(2) 言語	文脈・背景知識・前後関係							
7	予測(1)	語句の予測・会話の予測	③話の展開から次に来る語句を予測することができる。 ③文脈から、話の展開を予測する。				1 学期中間考査	ACD	
	予測(2) 言語	文脈を追って予測する							
8	Paragraph Reading(1)	パラグラフの構成	③段落の主題分を探すことができる。 ③順序などから展開パターンを考えることができる。					1 学期期末考査	ACD
	Paragraph Reading(2)	パラグラフの展開パターン							
9	Paragraph Reading(3)	パラグラフの展開パターン	③比較の表現や因果関係から展開パターンを考えることができる。 ②言い換え、ようやくに使われる表現を知り、使うことができる。	1 学期期末考査					ACD
	Paragraph Reading(4) 言語	パラグラフの展開パターン							
10	Skimming(1)	Key Word を見つける	③キーワードを見つけ、段落の大意をつかむことができる。						1 学期期末考査
	Skimming(2)								
11	Skimming(3) 言語	物語文のスキミング	③時間順序と 5W1H に注意して物語り文を読むことができる。		1 学期期末考査			ACD	
	Scanning(1)	要約作成	②要点を取り出して要約の英文を作ることができる。						
12	Scanning(2) 言語	表・広告を読み取る	③必要とする情報を表や広告から読み取ることができる。 ③キーワードから必要な情報を長文から探し出すことができる。	1 学期期末考査		ACD			
	1	長文のスキャニング							

※ 評価の観点①は関心・意欲・態度、②は表現の能力、③は理解の能力、④は知識・理解を表しています。

※ 授業計画は進度により前後することがあります。